



2023 年度
第 32 号

体育市民連帯 ニュースレター

1
初契約金を
奪われた選手たちが
不当だ
と言えなかった理由



2
北朝鮮
スポーツエンジンをかけて
外交戦を
本格化するか



3
朴インビ
IOC 選手委員
韓国候補に
内定



4
男子バレーボール代表
30 年ぶりの
U-19 世界選手権
銅メダル快挙



5
女性が迷わず飛び込んだ
波に見舞われた
70 代救助した
女子柔道選手



大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



01 SBS ニュース 2023.08.14

初契約金を奪われた選手たちが「不当だ」と言えなかった理由



韓国体育大学体操部が少なくとも10年以上、卒業生が実業チームに入団する際に受け取った契約金10%を事実上半強制的に受け取ってきたという事実が取材チームを通じて明らかになりました。

寄付金の公式口座が別にあるのに助教（訳注：教授の下で研究や事務を補助する人）や学生名義の通帳でお金を受け取り、出さない選手たちには督促電話もしました。名目は後輩たちの服代や共用品を買うのに使うということでした。しかし、実際の使用先は真っ暗でした。頭金が入金されていた口座の内訳を入手してみたところ、ほとんどが用途の分からない現金引き出しでした。

このようなことが長期間続いた原因は何なのか振り返ってみました。数十人の選手たちにインタビューしながら、なぜ不当だと思いつつも問題を提起できなかったのか、抵抗できなかったのか聞いてみました。

「先輩たちが皆出して、私たちも必ず出さなければならないという考えだけ持っていました。」

「間違ったことは知ってはいるが、下手に誰も言えない状況です。ずっとスポーツをこれからしないといけないから」

「教授の言うことは法でした。誰も問題にする人がいませんでした。」

垂直的で閉鎖的な体育界の環境の中で、選手たちは嫌でも「嫌だ」と言うことができず「自発的寄付」を強要されてきたのです。

このような問題は国家人権委員会が2020年職権調査結果を発表しながら出した体育界の構造的特性と一脈相通するものでした。人権委は2019年ショートトラックのチョ・ジェボムコーチセクハラ事件とスポーツ界MeToo運動を契機に体育界人権侵害に対する広範囲な職権調査を行い、その結果を発表しました。取材チームは当時、この調査を率いたキム・ヒョンス元人権委スポーツ人権特別調査団長に会い、今回の「契約金強制納付」疑惑に対する意見を尋ねました。

Q. 助教は「学生たちが自発的に出したものだ」と説明しているが、本当に自発的だと言えるだろうか？
そのような要求を受けた時、選手たちが拒否するのは難しい環境だと聞いています。指導者であれ助教であれ、そういうことを要求した時、「これはどこに使われますか？」と聞ける雰囲気ではないのです。すると指導者がただくれと言うので与えなければならないような状況で、後に「用途はどこに書かれていますか？」と尋ねるのも難しい状況に見えます。一旦渡した後は寄付者がお金がどこに使われたのか分かる道はないのです。

体育界は比較的閉鎖的な文化を持っています。中で問題が発生した時、外に知られるのを同じ集団の中で防いでいるということです。国家人権委員会でも職権調査を通じて明らかにした事実がそのようなものです。例えば、問題がある時に懲戒量定をととても軽くしたり、あるいは調査を遅延させて時間を引き延ばすのです。だから最初の通報者たちを疲れさせたりとか。懲戒を受けた人が再び現場に復帰して競技場で

ずっと顔を合わせてしまうような状況。そのため、どんな部分であれ問題提起が非常に難しくなっています。

暴力や性暴力事件のような場合も内部に埋もれる理由が、被害者が被害事実を外に表わしにくい部分が明確にあったんですよ。被害を表わした時、本人がむしろ集団から排除されるような結果にほとんどつながっているのです。このようなことを表わすのは難しいです。

問題を引き起こす指導者たちも知っています。「どうせしっかり耐えれば、乗り越えられる」ということです。それで問題が早く改善されなかった部分があつて。被害者は問題を明らかにするよりは水面下に沈むしかない、そういう仕組み。それが体育界に広まっていた そう見ることができるんです。

今回の事例のように、契約金の一部を望まなくてもお金を出さなければならない場合も同様に、そのような構造の中で現れる問題だと考えています。「これは不当だ」と言える雰囲気ではないのです。

Q. 問題が明らかになって責任を問う過程で体育界の自浄作用が作動しないのですか？

問題を提起する人も少ないだけでなく、問題が提起された時、それが「何の問題か」という反応がほとんどでしょう。問題自体として認識しないのです。そして問題になったとしても、それが間違っただけの人々に対する一罰百戒にはつながらないことは明らかに見えます。

Q. 厳しい先輩後輩の上下関係、垂直的な先輩後輩関係など垂直的な文化も働くと言えるでしょうか？

当然です。体育集団は実際に序列化されていて、その序列を外れる行為をすることに対してはチームワークを害する行為と認識しています。強固な序列化の中で、上命下服する仕組みの中で選手たちが生活しているのに、ここに何か問題提起をするということは自分が属している集団を否定することです。そのようなことは組織に対する裏切り、裏切りという行為と認識される可能性があるため、生半可に問題提起をすることはできません。

Q. 指導者たちの影響力も非常に強いようですね。

そうです。指導者たちは就職などに対して非常に大きな影響力を行使する場合があります。

本人が非常に優秀な成績を出して多くのチームがお互いに望む場合は、むしろ本人の年俵を少し上げてうまく進出できるが、それが少し曖昧な場合もあるんですよ。そのような場合は、指導者が相手の指導者との関係を通じて就職させてやる場合が非常に多いです。

競技が開かれる会場の中でも指導者の影響力が相当なんです。競技場に行くとき審判とかみんな同窓生とかそういうケースが多かったんですよ。だからそういう部分に対して不利益を与えたりとか。

就職する時もほとんどの指導者が全指導者に聞きます。「性格はどう？」って聞いた時、いい話をしてくれないんです。それでは結局損は個人が受けなければならないから。そのようなことを選手たちは成長する過程でずっと見てきたし、そのため本人が指導者を完全に排除して成長するという考えを捨てるしかないのです。

Q. では、根本的な問題解決はどうすればいいですか？

いろいろな勧告を国家人権委員会でも出しましたが、これがある個人に対する処罰だけで改善される問題だと考えず、「韓国スポーツ全般の構造が改善されなければ原因を解決したとは見られない」というのが私たちの結論でした。

根本的に韓国社会がスポーツへの接し方が狭い底辺で少数のエリート選手を連れて国威宣揚を目指しています。そのため強圧的で間違っただけの慣行もすべて埋められるしかなく、閉鎖的にならざるを得ない、そんな文化が残っているということです。

Q. スポーツ選手たちが国威宣揚を目標に運動することにどんな問題がありますか？

過去において体育を管掌する親法である国民体育振興法の第1条によれば、韓国が体育を振興させる目的は国威宣揚にありました。ところが国威宣揚をしようとしていると、小さな底辺の中で何か成果を出すためには選手たちに対する酷使を伴わなければそのような成績は出せないのです。

そのため、学習権も侵害され、また運動をもっとさせるために暴力や無理な状況が発生し続け、選手たちに対するプライバシー統制などが複合的に起きていたんです。

それで最近鉄人三種競技の故チェ・スクヒョン選手の切ない事件以後に国民体育振興法上体育の目的が改正され、それで「より多くの人々が参加するスポーツに出なければならない」というのが(現在)政府政策の方向だと言えます。

実は国家代表選手たちに「楽しもう」と言うのはちょっと合わない言葉なんですよ。 どうせ非常に高いレベルの専門性を持った選手たちは高度な専門性を持って運動をしなければならないのです。

ただし、この専門性というものを小学校とか中学校、私たちが義務教育というその時期から求めている。そういうのは過剰すぎるんですよ。 そういうことを全部耐えて、幼い時にスポーツをしようとして簡単には入れないんです。 エリートスポーツの領域に。

ユニセフやそのような機関では、児童がスポーツにどのように接するべきかについての指針を下していますが、そこにもスポーツが後で「一生の稼ぎ」になるには危険性がかなり大きいという点、そして「勝利が全てではない」ということを幼い頃から教えなければならないということが指針としてすべて出ています。

でも韓国ではエリートスポーツに参入すると同時にそういうものを要求するので、底辺が広がりにくいという仕組みだと言えます。 悪循環になるのです。

韓国のようにエリートだけに集中しすぎるスポーツをする国はかなり珍しく、むしろ大きな底辺の中で選別してより良い選手を探し出す方式、そういうものがより健康的なものですから、国家人権委員会の勧告もその方向で認識転換、パラダイム転換が必要だと大統領に勧告しました。

出典：https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1007302269&plink=ORI&cooper=NAVER

02 メディアファン 2023.08.12

北朝鮮、スポーツエンジンをかけて外交戦を本格化するか



北朝鮮が新型コロナウイルス感染症のパンデミック以後、国際体育大会に参加する意向を示し、対外イメージの改善に乗り出したという評価が出ている。これを契機に国境を開放し、9月の国連総会にチェ・ソンヒ外相が参加するなど外交戦も本格化するか注目される。

11日、統一部によると、北朝鮮は19～27日カザフスタンで開かれる世界テコンドー大会に参加する。また、来月23日～10月28日に中国杭州で開かれるアジア大会への参加申し込みも終えた。北朝鮮は2026年W杯にも参加する可能性がある。ただ、北朝鮮は来月から開かれる23歳以下(U-23)アジアカップサッカー大会の予選参加を申請したが、突然参加しなかったという。

米自由アジア放送によると、アジアサッカー連盟(AFC)は北朝鮮サッカー協会が最近、U-23アジアカップ大会予選に参加しないという意思を通知したと発表した。AFCは北朝鮮の不参加通知時期や理由に

ついで「北朝鮮サッカー協会に問い合わせるべきだ」と述べた。これで北朝鮮はサッカー予選を兼ねている2024年パリ夏季五輪にも出場できなくなった。しかし、北朝鮮がW杯予選に参加するかどうかはまだ見守らなければならない。

このように北朝鮮が国際体育大会に参加する決心をしたのは、正常国家のイメージを高めるためと分析される。尹錫烈（ユン・ソクヨル）政府発足後、韓国と米国が北朝鮮人権状況の深刻性を提起し、国際公論化させていることと無関係ではなさそうだ。これを念頭に置くかのように、北朝鮮は今日1日、平壤で「障害者および愛好家体育競技大会」を開幕したと報じた。

北朝鮮は世界で唯一、1人独裁者の3代世襲国家として閉鎖的なイメージが強い。ここに新型コロナウイルス感染症によって国境を封鎖し、国際社会のワクチン支援も許可せず、さらに孤立した側面がある。先月中旬、インドネシアで開かれたASEAN関連外相会議では、北朝鮮の外交友好国であるASEANまで北朝鮮の武力挑発を強く批判した。

したがって、北朝鮮が世界的な新型コロナウイルス終息宣言に合わせて国境を開放し、本格的な対外活動に乗り出す可能性が予想される。すでに北朝鮮は7月27日の「戦勝節」で記念する朝鮮戦争休戦協定締結日を記念する閲兵式に中国とロシア政府代表団をそれぞれ招待しており、特に金正恩国務委員長はロシア国防相とともに武器展示会場を訪れ、「防衛産業セールス」に乗り出す様子も見せている。

ひとまず中国・ロシアを相手に外交戦を始動させた北朝鮮が9月杭州アジア大会と国連総会に同時に参加し外交の動きの幅を広げていけるという見方が出ている。

北朝鮮は、カザフスタン国際テコンドー連盟世界選手権大会には100人余規模の選手団を派遣するという。また、杭州アジア大会には200人余りの選手団が参加するだろうという韓国政府当局の予想も出た。

米ニューヨークで開かれる国連総会に崔ソンヒ外相が直接出席する場合、2国間会談の開催可否も注目される。北朝鮮の国連演説は26日午前、シリア、バーレーン、法王庁に続き4番目の順序で予定されている。昨年6月に任命された崔外相は、これまで国際舞台に出て演説をしたことがない。北朝鮮は2014年と2015年にリ・スヨン外相、2016年から2018年までリ・ヨンホ外相がニューヨークで直接演説したが、2019年からキム・ソン大使が演説してきた。

一方、中国北京所在の北朝鮮専門旅行会社「高麗ツアー」が11日、ホームページの掲示文で「北朝鮮が非常に近いうちに国境を公式開放することが期待されるというニュースを聞いた」とし「まず開放は北朝鮮人を対象にしている」とした。これと関連し、金インエ統一部副報道官はこの日、「北朝鮮はすでに防疫を全般的に緩和する措置を取っており、今後の履行経過を見守る必要がある」と述べた。

出典：<https://www.mediapen.com/news/view/845569>

03 SBS 2023.08.14

朴インビ、IOC選手委員韓国候補に内定

国際オリンピック委員会（IOC）選手委員の韓国候補に女子ゴルフ選手の朴インビが事実上決まりました。



大韓体育会は今日（14日）午前、ソウルのあるホテルで元老会議を開き、朴インビを韓国候補に推薦することを決めました。朴インビは今年10日に開かれた評価委員会で最も高い点数を取ったとされています。

大韓体育会選手委員会は今年16日から17日まで元老会議が推薦した朴インビを対象に賛否を議決する予定です。

朴インビが選手委員会委員の過半数の賛成を得れば、体育会は朴インビを今月中にIOCに通報する計画です。

IOC選手委員は来年のパリオリンピック期間に参加選手の投票で選出されます。

今回IOC選手委員に挑戦状を出した候補はゴルフの朴インビ（35）、テコンドーの李デフン（31）、バレーボールの金ヨンギョン（35）、射撃の陳ジョンオ（44）、バドミントンの金ソヨン（31）ら合わせて5人でしたが、大韓体育会は今年10日に評価委員会を開いてこれら5人を対象に30分ずつ非公開個別深層面接を実施しました。

韓国を代表してイ・ギフン大韓体育会長と柳スンミン選手委員がIOC委員として活動していますが、2016リオデジャネイロオリンピック期間中に行われた選手委員選挙で当選した2004アテネオリンピック卓球男子シングルス金メダリスト出身の柳スンミン委員は2024年パリ夏季オリンピックを最後に8年の任期を終えます。

選手委員はオリンピック開催地選定投票など一般IOC委員と同じ権利を享受します。

出典：https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1007307421&plink=ORI&cooper=NAVER

04 聯合ニュース 2023.08.12

男子バレーボール代表、30年ぶりのU-19世界選手権銅メダル快挙



19歳以下（U-19）男子バレーボール代表チームが30年ぶりに国際バレーボール連盟（FIVB）U-19世界選手権大会で3位を占めた。

金ジャンビン監督率いるU-19代表チームは12日（韓国時間）、アルゼンチンのサンフアンで行われた米国との3・4位決定戦でセット点数3-1（25-18 25-19 21-25 25-23）で勝利し、銅メダルを獲得した。

11日、イランにセット点数1-3で敗れ、惜しくも決勝進出に失敗した韓国は同日、強豪米国と対戦し、第1セットから優位な試合を繰り広げた。

14-12でミドルブロッカーのチャン・ウンソク（東草高）が中央速攻とブロックに成功し、以後相手の攻撃ミスで点差を広げた。

第1セットを持ってきた韓国は、第2セットでも流れを続けた。

セット中盤、集中力のあるプレーで点差を広げ、セットスコア2-0を作った。

韓国は第3セットを奪われ追撃を許したが、第4セットを接戦の末に持ってきて勝利した。

韓国は第4セット23-21でアウトサイドヒッターの李ウジン（慶北体育高校）が不安そうにサーブレシーブをしたが、直接強打を打って得点し、勝機をつかんだ。

その後、連続得点を許した韓国は 24-23 で追われ、米国のサーブミスで試合を終えた。

主将のユン・ソジン（スソン高）は 17 得点でチーム最多得点を記録し、李ウジンが 15 点、チャン・ウンソクが 11 点と活躍した。

ユン・ソジンは試合後、FIVB とのインタビューで「韓国が U-19 世界選手権大会でメダルを獲得してからかなり経ったが、このように成果を出して感激している」と話した。

リベロのカン・スンイル（大韓航空）は大会ベストレシーバー賞を受賞した。

韓国が同大会で 3 位以内に入賞したのは銅メダルを獲得した 1993 年イスタンブール大会以来 30 年ぶりのことだ。

当時、韓国はチェ・テウン（現現代キャピタル監督）、ソク・ジンウク（元 OK 金融グループ監督）、チャン・ビョン Chol（元韓国電力監督）らが活躍し、メダルを獲得した。

フランスはイランをセットスコア 3-1 で下して優勝した。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230812029000007?input=1195m>

05 ファイナンシャルニュース 2023.08.10

「女性が迷わず飛び込んだ」…波に見舞われた 70 代救助した女子柔道選手



国家代表出身の女子柔道選手が波に流された 70 代の男性を救助した話が伝えられ話題になっている。

9 日、順천시によると、順천시庁柔道チーム所属のヤン・ソウ選手は 5 日、泰安万里浦海水浴場で波に流された避暑客 A さん（78）を救助した。

この日、A 氏は家族と一緒に該当海水浴場で避暑を楽しんでいたところ、突然の離岸流現象で足が届かない深いところまで波にさらわれた。

A 氏の家族が 119 に通報し、救助隊員を待っていたところ、状況を目撃したヤン・ソウ選手が危険を冒して海に飛び込んで波に流された避暑客を救助した。

ヤン・ソウ選手の善行は、A 氏の娘が最近順천시体育産業課に電話をかけてきて、この日に万里浦海水浴場で起きた状況を説明し、ヤン選手に対する感謝の挨拶を伝えたことで知られた。

ヤン選手が当時、自分の身分を明らかにせずに離れたが、周辺で柔道選手という話を聞いた A 氏家族がインターネット検索などを通じて順천시に電話をしたのだ。

A 氏の娘は「緊急な状況でためらうことなく海に飛び込んで父親を救助してくれて心から感謝する。

選手の将来をいつも応援していきたい」と感謝の気持ちを伝えた。

一方、2 年前にカン・ユジョンからヤン・ソウに改名した彼女は、2021 年に国家代表として東京五輪に出場したことがある。彼女は当時、女子柔道 48 キロ級の競技を控え、個人戦通過のために剃髪する闘魂を見せた。

出典：<https://www.fnnews.com/news/202308100930035860>

06 週刊スポーツニュース

「年俸 1 兆」まで提案…ヨーロッパを飲み込むサウジの「オイルマネー」

<https://www.spotvnews.co.kr/news/articleView.html?idxno=625661>

水泳国家代表の黄ソヌウ、選手村に入村してひき逃げの疑い

<https://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=7747790&ref=A>

囲碁戦士たち、「金メダル狩り」を控えて鎮川選手村に入村

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230811004300007?input=1195m>

水原市、選手対象暴力・セクハラなど人権侵害実態調査

https://newsis.com/view/?id=NISX20230811_0002410794&cID=14001&pID=14000

申ジエ AIG 女子オープン 3 位…韓国選手 2 年ぶりのメジャー無冠

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230814001900007?input=1195m>

韓国選手団、ウランバートル東アジアユース大会のため 14 日出国

<https://www.news1.kr/articles/5139837>

金ジャイン、IFSC 世界選手権コンバインド 5 位…五輪チケット、11 月に再挑戦

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230812031100007?input=1195m>

女子生徒に性的暴行を加えた 10 代の男性「思春期逸脱…」野球選手が夢」善処訴え

<https://www.sedaily.com/NewsView/29TDNLNYUY>

トットナム主将ソン・フンミン、選手団初の感動演説「同じ目標に向かって同じ一歩進もう！」

<https://www.xsportsnews.com/article/1758912>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。

皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための

体育市民連帯活動に強固な土台となります。

体育市民連帯会員として力になろうと

される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>